

1月～3月

HR REPORT

by PERSOL Asia Pacific

・国・地域別求人動向

目次

国・地域別求人動向

シンガポール	03
マレーシア	04
タイ	05
インドネシア	06
ベトナム	07
フィリピン	08
インド	09

パーソルグループは、アジア・パシフィックにおいて13カ国・地域に事業展開し、お客さまの人と組織にまつわるご相談にお応えしています。本レポートでは、アジア・パシフィック地域のパーソルグループにご依頼いただく年間約10万件（※）の求人案件をもとに、各国の最新の求人動向をまとめております。本レポートがお客さまの人と組織の成長に少しでもお役に立てますと幸いです。

※アジア・パシフィック13カ国・地域における求人案件数。

Copyright(C) PERSOL Asia Pacific Ptd Ltd. All right reserved.
このレポートに掲載している情報のコピーおよび無断転載を禁じます。

国・地域別求人動向 (シンガポール)

GDP成長率(前年同期比)

4.6% 

求人数(前年同期比)

89.0% 

求人数(前期比)

103.7% 

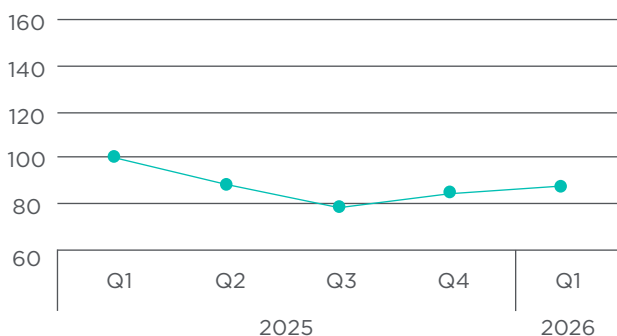
以下のグラフは、日系・非日系企業から弊社にご依頼をいただく新規採用求人数を示しており、1年前の同時期を100とした場合の推移を示しております。四半期ごとの通年推移を見ると同時に、前期比・昨年同期比から各国の求人増減の動向をご参照ください。

※これらの情報は、PERSOLの各海外現地法人および提携先企業の求人データを元に作成しています。各コメントは2025年12月末日現在の内容になります。最新の動向は、直接営業担当宛にご照会ください。

凡例: 昨年同期比

 急激に増加  安定増加  横ばい  やや減少  大幅に減少

求人数



執筆:

PERSOL Singapore Amily Yoong



① 経済・労働市場動向

- ・ **GDP成長率**: 前年同期比+4.6%と引き続き堅調だが、前期比ではやや減速
- ・ 製造業・建設業が引き続き成長を牽引
- ・ 2025年のリストラ件数は14,490件と増加傾向
ただし、景気後退が主因ではなく、AI導入や業務再設計を背景とした、専門職・管理職層を中心とする構造的な人員再編が主要な要因
- ・ **失業率**: 約2%と低水準を維持しており、労働市場は引き続きタイトな状態



② 採用市場・企業動向

- ・ 求人数は約295～325件で安定的に推移。主に欠員補充やスキル転換を目的とした採用が中心
- ・ 製造、建設、物流、IT関連が主要な採用分野
- ・ 応募数は多いものの、書類通過率・内定率はいずれも低水準
- ・ 採用姿勢は「量」よりもスキル適合性・即戦力性を重視する厳選型
- ・ 日系企業では、環境適応力、横断的スキル、リージョナル経験を重視する傾向が顕著
- ・ 市場全体の課題は人材不足ではなく、組織構造改革に伴う既存人材のスキルミスマッチ

国・地域別求人動向 (マレーシア)

GPD成長率(前年同期比)

約4.0~4.6% ↗

求人数(前年同期比)

104.4% →

求人数(前期比)

96.1% →

以下のグラフは、日系・非日系企業から弊社にご依頼をいただく新規採用求人数を示しており、1年前の同時期を100とした場合の推移を示しております。四半期ごとの通年推移を見ると同時に、前期比・昨年同期比から各国の求人増減の動向をご参照ください。

※これらの情報は、PERSOLの各海外現地法人および提携先企業の求人データを元に作成しています。各コメントは2025年12月末日現在の内容になります。最新の動向は、直接営業担当宛にご照会ください。

凡例: 昨年同期比

↑ 急激に増加 ↗ 安定増加 → 横ばい ↘ やや減少 ↓ 大幅に減少

求人数



執筆:

PERSOL Malaysia 北阪涼子

① 経済・労働市場動向

- ・ **GDP成長率:** 4.0 ~ 4.5%で推移し、堅調な内需が下支え
- ・ **成長要因:**
 - 安定した国内消費
 - 「ビジット・マレーシア」キャンペーンによる観光業の拡大
 - 電子・電気製品 (E&E) の輸出回復
- ・ **失業率:** 2.9%で、2025年11月以降4か月連続で同水準を維持

② 採用市場・企業動向

- ・ **求人数:** 日系・非日系合計で前年同期比105.8%と増加傾向
- ・ 求職者からは、就労ビザ取得可否に関する問い合わせが増加
- ・ **注目点:**
 - 2026年6月1日より就労ビザ制度が大幅改定予定
 - 最低給与要件が従来比で約2倍に引き上げ
- ・ 政府方針として、ローカル人材の雇用を優先し、外国人労働者依存を減らす姿勢が明確化されており、ビザ要件の厳格化が進行

国・地域別求人動向(タイ)

GDP成長率(前年同期比)

約1.8~2.5% ↗

求人数(前年同期比)

111.0% ↗

求人数(前期比)

103.1% →

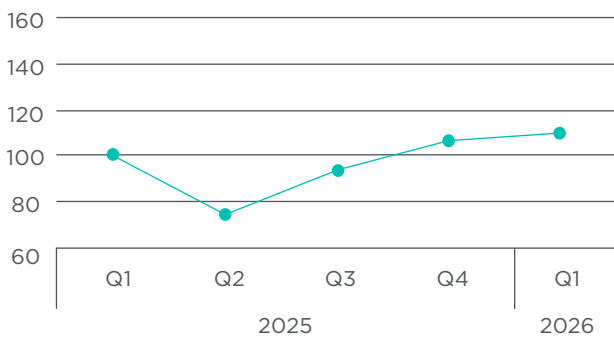
以下のグラフは、日系・非日系企業から弊社にご依頼をいただく新規採用求人数を示しており、1年前の同時期を100とした場合の推移を示しております。四半期ごとの通年推移を見ると同時に、前期比・昨年同期比から各国の求人増減の動向をご参照ください。

※これらの情報は、PERSOLの各海外現地法人および提携先企業の求人データを元に作成しています。各コメントは2025年12月末日現在の内容になります。最新の動向は、直接営業担当宛にご照会ください。

凡例: 昨年同期比

↗ 急激に増加 ↘ 安定増加 → 横ばい ↘ やや減少 ↓ 大幅に減少

求人数



執筆:

PERSOL Thailand 大塚有子

① 経済・労働市場動向

- ・ GDP成長率: 1.8 ~ 2.5%の市場予測
- ・ 電子・電機を中心とした輸出、設備投資、サービス消費に支えられ、緩やかな回復基調
- ・ 1月は輸出・観光・民間消費が堅調。2月は輸出鈍化や耐久消費財需要の反動減によりやや減速
- ・ 先行きリスクとして、民間消費減速、米国関税政策、製造業競争激化が下押し要因
- ・ 失業率は: 1月0.9%、2月0.9%、3月1.0%と低水準
- ・ 就業者数は約4,100 ~ 4,140万人で安定。サービス・商業分野が最大の雇用先

② 採用市場・企業動向

- ・ 弊社求人数: 合計931件 (前年比114%)
 - 日系企業: 439件 (前年比106%)
- ・ 採用需要は全体として拡大傾向。特に非日系・外資系企業からの案件増加が顕著
- ・ 求職者動向:
 - 景気の不透明感を背景に慎重姿勢が強まる
 - 調査では、「今後12か月以内に転職予定なし」が72%、「積極的に求職中」は23%
- ・ 注目点:
 - 企業は人数増を目的とした採用から、利益創出や変革に直結するポジションに絞った採用ヘシフト
 - 特に需要が高い職種:
 1. デジタル、AI、データ関連
 2. エンジニアリング
 3. 経営幹部・キーマネジメント
 4. B2B営業・マーケティング
 6. 製造関連専門職

国・地域別求人動向 (インドネシア)

GDP成長率(前年同期比)

約4.8~5.2% ↗

求人数(前年同期比)

108.3% ↔

求人数(前期比)

108.3% ↔

以下のグラフは、日系・非日系企業から弊社にご依頼をいただく新規採用求人数を示しており、1年前の同時期を100とした場合の推移を示しております。四半期ごとの通年推移を見ると同時に、前期比・昨年同期比から各国の求人増減の動向をご参照ください。

※これらの情報は、PERSOLの各海外現地法人および提携先企業の求人データを元に作成しています。各コメントは2025年12月末日現在の内容になります。最新の動向は、直接営業担当宛にご照会ください。

凡例: 昨年同期比

↑ 急激に増加 ↗ 安定増加 ↔ 横ばい ↘ やや減少 ↓ 大幅に減少

求人数



執筆:

PERSOL Indonesia 梶由伸



① 経済・労働市場動向

- ・ GDP成長率: 5.0 ~ 5.2%の市場予測
- ・ 個人消費・投資を中心とした内需拡大に加え、輸出増加およびサービス産業の成長により、幅広い分野で成長が見られる
- ・ 失業率: 4.74% (2025年11月時点) と、同年8月 (4.85%) から改善



② 採用市場・企業動向

- ・ 求人数は前年同期比100.3%と、概ね横ばい
- ・ 日本人現地採用
 - 製造業を中心に採用需要が高水準
 - 職種別では営業職およびマネジメント層が中心
 - 営業職は業界横断で最多となり、BtoB営業の即戦力人材への需要が顕著
 - 製造業では、設備保全、品質管理、工場マネジメントなど専門職の採用も堅調
- ・ 現地人材採用
 - 製造業が全体の約55 ~ 60%を占め、商社、物流、ITなどBtoB領域でも需要が高い
 - 職種別では営業職が約35 ~ 40%と最多
 - 生産管理、品質管理、経理、人事など管理系職種も安定需要
 - ポジション別では、スタッフ層約50%、Supervisor ~ Manager層約40%と中間管理職の需要が高い
- ・ 注目点: 3月はレバラン (断食明け大祭) の時期にあたり、THR (法定宗教手当) 支給後の退職者増加が例年見られる

国・地域別求人動向 (ベトナム)

GPD成長率(前年同期比)

7.83% 

求人数(前年同期比)

108.6% 

求人数(前期比)

102.7% 

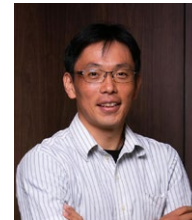
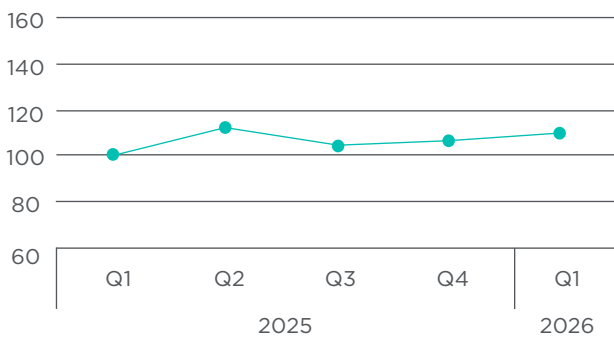
以下のグラフは、日系・非日系企業から弊社にご依頼をいただく新規採用求人数を示しており、1年前の同時期を100とした場合の推移を示しております。四半期ごとの通年推移を見ると同時に、前期比・昨年同期比から各国の求人増減の動向をご参照ください。

※これらの情報は、PERSOLの各海外現地法人および提携先企業の求人データを元に作成しています。各コメントは2025年12月末日現在の内容になります。最新の動向は、直接営業担当宛にご照会ください。

凡例: 昨年同期比

 急激に増加  安定増加  横ばい  やや減少  大幅に減少

求人数



執筆:

PERSOL Vietnam 木村亮太



① 経済・労働市場動向

- ・ **GDP成長率:** 前年同期比+7.83%の見通し
 - 1-3月期としては2009年以降で最高水準 (約17年ぶり)
- ・ **成長要因:**
 - 工業・建設業およびサービス業の拡大
 - 製造業の輸出増加
 - 公共投資の進展
 - テト需要や観光回復による内需拡大
- ・ **失業率:** 2.21%と低水準 (都市部2.46%/農村部2.04%)
- ・ 日本のODA動向として、GWに予定されている高市首相訪越を契機としたインフラ投資進展が期待され、通勤圏拡大・採用可能エリア拡張への影響も見込まれる



② 採用市場・企業動向

- ・ 2026年1-3月の求人数は前年同期比185%と大幅増 (ハノイ・ホーチミンともに)
- ・ テト後は転職活動が活発化し、ボーナス受領後の転職が例年通り増加
- ・ 優秀人材は引き続き売り手市場
- ・ 日系企業は慎重姿勢を維持しつつも回復傾向。一方、韓国・中国系を中心とした外資系の採用攻勢が継続
- ・ 給与上昇圧力は依然強いが、企業側はコスト意識をより強化
- ・ 日系企業では、福利厚生や雇用安定性による差別化を志向する傾向

国・地域別求人動向 (フィリピン)

GDP成長率(前年同期比)

約5.2~5.8% ↗

求人数(前年同期比)

76.6% ↘

求人数(前期比)

66.6% ↓

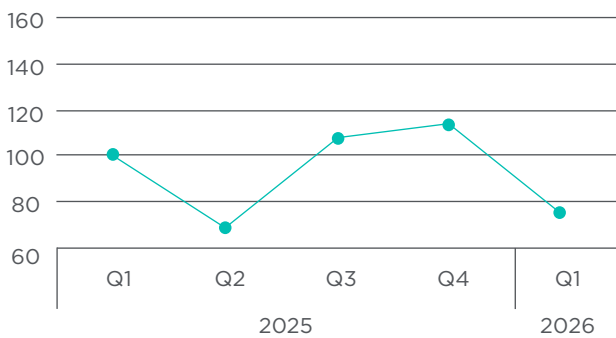
以下のグラフは、日系・非日系企業から弊社にご依頼をいただく新規採用求人数を示しており、1年前の同時期を100とした場合の推移を示しております。四半期ごとの通年推移を見ると同時に、前期比・昨年同期比から各国の求人増減の動向をご参照ください。

※これらの情報は、PERSOLの各海外現地法人および提携先企業の求人データを元に作成しています。各コメントは2025年12月末日現在の内容になります。最新の動向は、直接営業担当宛にご照会ください。

凡例: 昨年同期比

↑ 急激に増加 ↗ 安定増加 → 横ばい ↘ やや減少 ↓ 大幅に減少

求人数



執筆:

PERSOL Philippines 高山彩仁

① 経済・労働市場動向

- ・ **GDP成長率**: 前年同期比約4.5%で、前年からの減速傾向を継続
- ・ **成長鈍化要因**:
 - 年初の個人消費減速
 - 外需の弱さ
 - 政府支出の立ち上がり遅れ
 - 天候要因による農業・物流への影響
- ・ **失業率**: 12月4.4% → 1月5.8%へ上昇 (季節要因による一時的悪化)
- ・ 労働力人口の増加により就業者数は一定水準を維持する一方、不完全雇用率は約13% (約630万人) と高水準

② 採用市場・企業動向

- ・ PSA統計上の求人数は未公表だが、年初は企業の採用活動が全体的に鈍化
- ・ 年末繁忙期の反動により、サービス・小売・飲食業を中心に雇用が一時的に縮小
- ・ 若年層・新規就業者の競争が激化し、就職までの期間が長期化
- ・ 日本企業にとっては、採用タイミングの最適化および条件の明確化によるミスマッチ防止が引き続き重要

国・地域別求人動向(インド) NEW 2026

GDP成長率(前年同期比)

約6.5~6.8% 

求人数(前年同期比)

N/A

求人数(前期比)

N/A

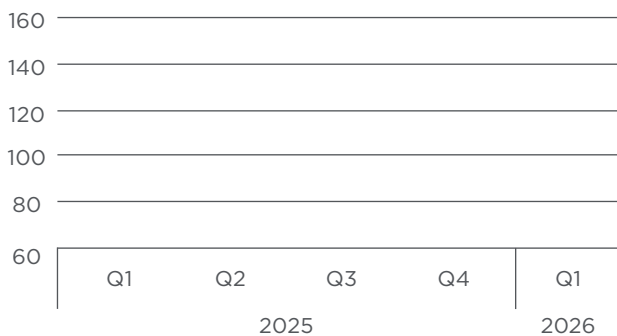
以下のグラフは、日系・非日系企業から弊社にご依頼をいただく新規採用求人数を示しており、1年前の同時期を100とした場合の推移を示しております。四半期ごとの通年推移を見ると同時に、前期比・昨年同期比から各国の求人増減の動向をご参照ください。

※これらの情報は、PERSOLの各海外現地法人および提携先企業の求人データを元に作成しています。各コメントは2025年12月末日現在の内容になります。最新の動向は、直接営業担当宛にご照会ください。

凡例: 昨年同期比

 急激に増加  安定増加  横ばい  やや減少  大幅に減少

求人数



執筆:

PERSOL India 藤井健吾



① 経済・労働市場動向

- ・GDP成長率: 政府推計で前年比+7.6%
- ・個人消費(+7.0%)と設備投資(+7.8%)が成長を牽引
- ・失業率: 1月5.0%→2月4.9%→3月5.1%と推移し、前四半期平均(4.8%)からやや上昇



② 採用市場・企業動向

- ・日系企業の求人数は前年比+7.4%、前四半期比+20%と高い伸び
- ・求人数増加に伴い、優秀人材(インド人・日本人とも)が複数オファーを獲得するケースが増加
- ・日系企業間で求める人材像が類似しており、人材獲得競争は一層激化
- ・採用の成否は報酬条件だけでなく、選考スピードが重要な分岐点に
- ・選考プロセスの長期化により、求職者辞退が発生し、採用期間が伸びる企業も散見される



パーソルシンガポール

PERSOL Singapore Pte Ltd.

50 RAFFLES PLACE, #07-01 SINGAPORE LAND TOWER,
SINGAPORE 048623

お問合せ先: +65-6709-3388

info.sg-jpdesk@persolapac.com

パーソルマレーシア

Agensi Pekerjaan PERSOL Malaysia Sdn Bhd.

Level 19, Menara AIA Sentral, No. 30 Jalan Sultan Ismail,
50250 Kuala Lumpur

お問合せ先: +603-2203-0808

info.my-jpdesk@persolapac.com

パーソルタイ

PERSOL HR Services Recruitment (Thailand) Co., Ltd.

21st Floor, Bangkok City Tower, Unit 2101-02, 179 South
Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120,
Thailand

お問合せ先: +(662)-670-0505

info.th-jpdesk@persolapac.com

パーソルインドネシア

PT PERSOL Recruitment Indonesia

Mayapada Tower 1, 6th Floor, Suite 06-01, Jl. Jend. Sudirman
Kav 28, Jakarta 12920

お問合せ先: +(62)-21-521-1873

info.id-jp@persolapac.com

パーソルベトナム

PERSOL Vietnam Co., Ltd.

18th floor, SONATUS, 15 Le Thanh Ton Street, District 1, Ho Chi
Minh City, Vietnam

お問合せ先: +84-(0)28-73039100

info.vn-jpdesk@persolapac.com

パーソルフィリピン

JOHNCLEMENTS. RECRUITMENT, INC. - Japan Desk |

PERSOL PHILIPPINES

14F LKG Tower, 6801 Ayala Ave., Bel-Air, Makati City, Metro
Manila Philippines 1209

お問合せ先: +(632) 8884-1227/8991-1400

persol@johnclements.com

パーソルインドニア

PERSOL India Private Limited

Unit No. 1202 - 1204 , 12th Floor, Tower C, Unitech Cyber Park,
Sector - 39, Gurugram - 122 002, Haryana - India

お問合せ先: +91 124 472 6666

info.in-jpdesk@persolapac.com